

管理スクリプトで設定されたコール制御変数を、ルーティング スクリプトがアクセスできない理由

目次

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[問題](#)

[解決策](#)

[関連情報](#)

[はじめに](#)

このドキュメントでは、管理スクリプトに設定されているコール制御変数がルート スクリプトで参照されない理由について説明します。このドキュメントでは、Cisco Intelligent Contact Management (ICM) 環境の管理スクリプトとルート スクリプト間でデータを共有する方法についても説明します。

[前提条件](#)

[要件](#)

Cisco は ICM スクリプト エディタのナレッジがあることを推奨します。

[使用するコンポーネント](#)

この資料に記載されている情報はすべての ICM バージョンに基づいています。

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 (デフォルト) 設定の状態から起動しています。稼働中のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してください。

[表記法](#)

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

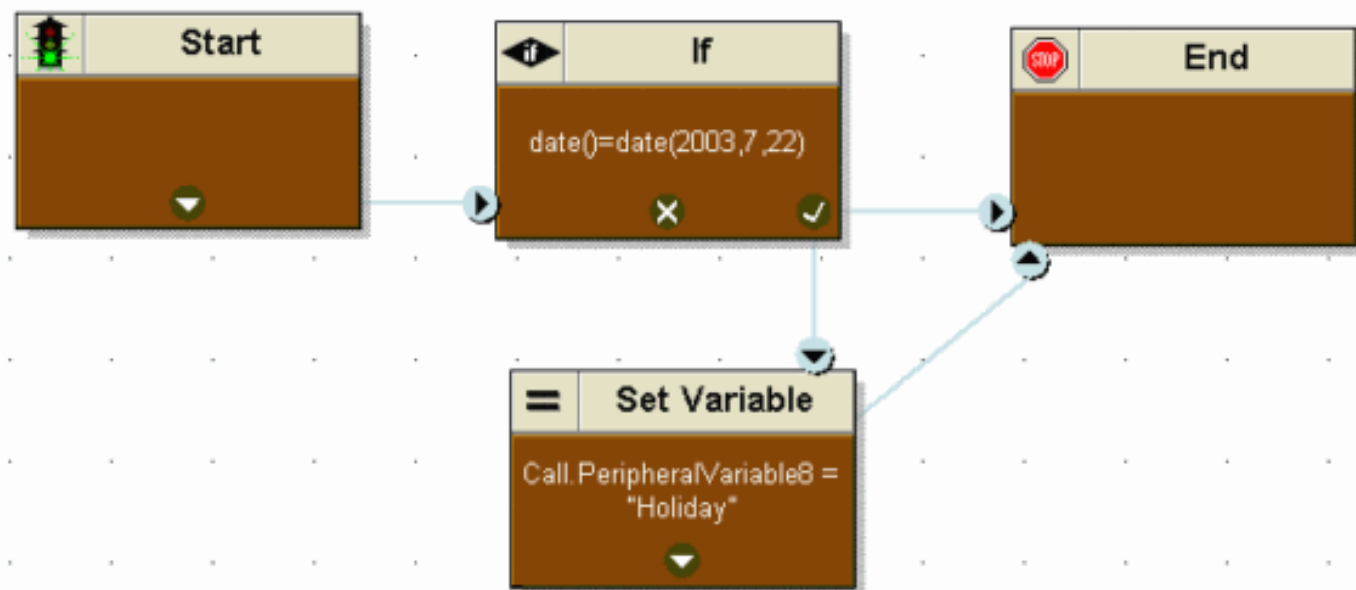
問題

Set Variable ノードはいくつかのコール変数の値を設定します。スクリプトで呼制御変数を参照する構文は次のとおりです:

Call.variable

この場合の値に管理上のスクリプトおよびセット Call.PeripheralVariable8 実行すれば、すべてのルート スクリプトは値にアクセスしません。 [図 1](#) 例を提供します。

図 1 –呼制御変数を設定 する管理上のスクリプト



解決策

管理上のスクリプトはの値に正常に Call.PeripheralVariable8 設定します。ただし、制御 変数は管理上のスクリプトとルート スクリプトの間で共有することができません。

変数は管理上のスクリプトとルートの間で渡るためにグローバル なユーザー定義変数のスクリプトを書きましたり、使用します。グローバル なユーザー定義変数によって、各ユーザー定義変数はなりません:

- から始まる名前を持って下さい
- オブジェクト型と、たとえば、サービス関連付けられて下さいこれはそのの各オブジェクトのための変数の例を維持することを ICM ソフトウェアが打ち込みますシステムを可能にします。
- 耐久性があるまたは nonpersistent である変数として識別されて下さい耐久性がある変数は CallRouter 再起動を渡る値を保ちます。 nonpersistent 変数は CallRouter 再起動を渡る値を保ちません。

注: ユーザー定義変数は 40 文字までの値を保存できます。

関連情報

- [テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems](#)